

平成24年度当初予算 予算要求シート

整理番号	214 - 005	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 2	局・課名	西区役所 生活援護課
区分	新規・拡充・重点						(単位 千円)

事業名	自立支援プログラム策定実施推進事業(西区)		平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
関連事業	健康福祉局 自立支援プログラム策定実施推進事業(本庁)	事業費		4,136	4,147
事業目的	生活保護制度が目的とする被保護者の自立を実現するため、自立阻害要因について類型化のうえ必要なプログラムを策定し、自立支援を強化していく。	事業期間	H ~ H	全体事業費	
事業内容	<p><堺市被保護者就労支援促進事業>就労支援相談員を配置し、求職活動支援、雇用情勢の分析、ハローワークとの調整等、就労開始に向けた支援を実施する。</p> <p><堺市被保護者キャリアサポート事業>キャリアカウンセラーによる就労意欲喚起を実施し、加えて求人開拓員による雇用先企業とのマッチングにより就労機会を創出する。また、就業訓練が必要な者については、短期間の雇用機会を提供し、就労に向けた知識や技術を研修等により習得する。</p> <p><長期入院患者退院促進事業>退院促進支援員を配置し、長期入院しており、受入条件が整えば退院可能である者に対し、関係諸機関等との調整を図り、居宅生活以降に向けて支援する。</p> <p><稼働能力判定会議設置事業>臨床心理士資格を有するカウンセラーに本会議に参画してもらい、稼働能力に疑義のある者の能力や各種適性を把握し、個々の状況に応じた支援方針を策定する。</p> <p><被保護者(高校生等)調査研究実施事業>大学等研究機関への事業委託を行い、被保護世帯の高校在籍年齢にある者について、中途退学や不登校といった課題について、調査・分析を行う。</p>	今年度要求のポイント	<p>西区では、自立支援プログラムのうち、堺市被保護者就労支援促進事業と稼働能力判定会議設置事業を実施している。</p> <p><堺市被保護者就労支援促進事業>就労支援相談員を配置し、求職活動支援、雇用情勢の分析、ハローワークとの調整等、就労開始に向けた支援を実施する。</p> <p><稼働能力判定会議設置事業>稼働能力に疑義のある者の適性や能力の把握が有効であることから、実施区を拡充し全区展開とする。</p>		
		主な要求内容	(単位：千円)		
		項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等
		堺市被保護者就労促進事業	2,527	2,539	嘱託員報酬等
		稼働能力判定会議設置事業	1,609	1,608	キャリアカウンセラー謝礼金等
		合計	4,136	4,147	
スケジュール(経過及び今後展開)					その他 特記事項
<p>【経過(～23年度)】</p> <p>15年度 堺市被保護者就労促進事業実施 19年度 長期入院患者退院促進事業実施 21年度 稼働能力判定会議設置事業実施 23年度 堺市被保護者キャリアサポート事業実施</p>		<p>【24年度】</p> <p>稼働能力判定会議設置事業の実施区を5区から全区へと拡充 被保護者(高校生等)調査研究実施事業を実施 他事業については、継続</p>		<p>【今後(25年度～)】</p> <p>各事業効果を検証のうえ、事業展開予定</p>	